

市議会からの意見を踏まえた審議会での対応（案）

資料C

※簡易な校正、文字修正、追記、削除等は含みません。

H290314時点

番号	ページ	意見	対応および修正	備考
1	全体	事業名には新規事業、総合戦略事業、マニフェスト事業があがっていない。実施計画を策定し、明らかにしてほしい。	現在策定中です。平成29年度の予算審議を踏まえ、検討過程において議会との議論を深めます。最終確定は平成29年9月を想定しています。	H290124 総務常任委員会
2	全体	カタカナ言葉が多いので、市民にわかるように注釈等を追記してほしい。※シビック・プライド=郷土愛など	わかりやすい表現に改めます。	H290124 総務常任委員会
3	全体	基本計画の内容が重苦しい。明るいものにできないか。	できるだけ表現を平易にします。	H290124 総務常任委員会
4	基本構想 P. 4 P. 10	「②人々の絆」が簡単過ぎる。「①多彩な風土」が長過ぎる。	序論部分では市の魅力を前面に出したいため、このような構成となっています。構成について修正します。	H290124 総務常任委員会
5	基本構想 P. 12	「人口減少の時代に今まで以上に挑戦しよう」の文言の整理が必要。	修正しました。	H281127 総務常任委員会
6	基本構想 P. 12	「誰もが主役」は「主役」か「主体」で統一すべき。	個人は「主役」、団体は「主体」で使い分けます。	H290124 総務常任委員会
7	基本構想 P. 13	単なる「企業誘致」ではなく、「地域の資金を集める」との視点があってもよいのではないか。	域内経済を循環させるとの考え方は、単なる企業誘致ではなく、地域内でひと・もの・カネを循環させることで稼ぐ力を高めるとの視点で記載しています。	H290124 総務常任委員会
8	基本構想 P. 18	「あい甲賀いつもの暮らしに“しあわせ”を感じるまち」とあるが、しあわせを評価するのは難しいのではないか。	”しあわせ”の定義については様々です。しかし、人口減少局面においては、語り合い、わかりあうことで新たな豊かさや幸せを目指すことが重要です。”しあわせ”などを図る市民意識調査とともに、共有するための取り組みを検討します。	H290124 総務常任委員会
9	基本構想 P. 19	「夢だけでなく、人生の数」とあるが、もう少しわかりやすい表現はないか。	人口は単なる統計上の数値ではないことを表したものです。審議会での議論を経て、修正します。	H281127 総務常任委員会
10	基本構想 P. 19	人口フレームに「10万人都市」と明示すべきではないか。	フレームは、まちづくりの基盤となる枠組みのことで、ここでは総合戦略に基づく平成40年までの人口をフレームとしています。10万人都市については、将来の目標であり、その第一歩を踏み出すために、基本計画でチャレンジプロジェクトを進めます。	H290124 総務常任委員会
11	基本構想 P. 22	都市経営と協働について、単なるマネジメントではなく、循環型の地域づくりなどの視点で示してほしい。	修正します。	H281127 総務常任委員会
12	基本構想 P. 24	「甲賀の資産は“ひと”です」ではなく、「“ひと”は甲賀の資産です」ではないか。定住の視点から修正してほしい。	修正します。	H290124 総務常任委員会
13	基本計画 P. 20	「小さく充実させる＝縮充）」は一般的にわかりにくいのではないか。	補足説明を追記しました。	H281127 総務常任委員会
14	基本計画 P. 23	「忍者」を見る施設ない。樅野寺のような仏閣を観光資源とすべきではないか。	「忍者」に係る施設については、既存の施設を官民連携により活かすとともに、文化財などの”あるもの”を活かした観光振興を進めます。	H290124 総務常任委員会
15	基本計画 P. 26	再生エネルギーに係る記述を追記してほしい。	資源・エネルギーに記載します。	H290124 総務常任委員会
16	基本計画 P. 43 P. 49	都市機能、人口をどこで充実、増加させるのか明示してはどうか。	JR草津線の駅周辺における機能集積と人口増加を目指します。	H290124 総務常任委員会

追加1	基本構想 P. 4 P. 10	「①多彩な風土」や「②人々の絆」について、市の魅力を前面に出したいため、このような構成となっているとあるが、読み手にわかりづらい。「①多彩な風土」が強すぎる。「②人々の絆」「③ものづくりのまち」が弱い。	序論部分では市の魅力を前面に出したいため、このような構成となっています。②人々の絆、③ものづくりのまちについては、構成を変更します。	H290214 総務常任委員会
追加2	基本構想 P. 12	「市民」と「住民」の使い分けが多く見られるが、「市民自治の基盤づくりを～」は「住民自治の基盤づくりを～」ではないのか。	地域等に住んでいる人を「住民」とし、「市民」は、まちづくり基本条例に基づくこととします。	H290214 総務常任委員会
追加3	基本構想 P. 12	総合計画では「人口減少の時代に立ち向かう」とされているが、総合戦略では「人口減少に挑む」との表現であった。変更された理由はあるのか。総合戦略との整合性は示すべきであり、反映すべきではないのか。	まちの課題にオール甲賀で行動しようとの呼びかけであり、「挑もう」ではなく、「立ち向かおう」との表現になっていません。総合戦略の理念は、総合計画に引き継いでいます。	H290214 総務常任委員会
追加4	基本構想 P. 15	【目標3】の課題に「JR草津線のダイヤ改善や～土地利用規制の見直しが必要である。」とあるが、「公共交通への利用転換」が意味することは何か。	自家用車から公共交通への利用転換です。説明を追記します。	H290214 総務常任委員会
追加5	基本構想 P. 15	【目標3】の課題に「JR草津線のダイヤ改善や～土地利用規制の見直しが必要である。」の「公共交通への利用転換」の目的には、環境やエネルギー対策の意味も含んでいるのか。	目標3では、JR草津線の利便性の改善のみを示していますが、その効果は環境面でも発揮されると考えています。	H290214 総務常任委員会
追加6	基本構想 P. 16	【協働の目標】の課題に「公共施設の有効活用と～公共施設の最適化が急務である。」とあるが、「公共施設の最適化」とは何か。	地域や施設の特性を考慮しながら、集約化、複合化、転用、更新（建て替え）、廃止等を行いながら施設総量の縮減を図っていくことを表しており、地域、施設ごとに異なる最適化があると考えています。	H290214 総務常任委員会
追加7	基本構想 P. 18	1. みらい像の「未来」がひらがな表記である理由は何か。	柔らかさを表現したものであり、漢字では遠い未来をイメージする可能性があるため、ひらがなとしました。修正を検討します。	H290214 総務常任委員会
追加8	基本構想 P. 18 P. 19	國プロに示している戦略のポイントと総合計画との整合性はどうか。また、國プロにおける戦略のポイント等は、総合計画に引き継がれていないのか。	審議会委員は、総合戦略を策定した委員であり、その理念や考え方は引き継いでいます。戦略のポイントについても、基本構想のまちづくりの大綱等に反映されています。	H290214 総務常任委員会
追加9	基本構想 P. 19	人口フレームは目標値ではないとのことだが、人口フレームと目標値の違いは何か。	人口フレーム＝人口目標となります。人口フレームは道路、下水道等のインフラ等の根拠となるものです。行政経営の視点から、過大な投資とならないよう、まちづくりの「枠組み」として設定します。	H290214 総務常任委員会
追加10	基本構想 P. 19	「しかし、現実的な未来だけを考えても、「しあわせ」な未来を創ることはできません。」とはどのような意味か。無理やりはめ込んだように感じる。表現の訂正が必要ではないか。	経済成長の低迷や人口減少は、避けられない現実であり、縮小時代に合わせた手堅いまちづくりが必要です。しかし、暗い将来だけを想像しても、型にはまったまちづくりしかできません。みんなで「しあわせな未来」を想像し、ともに創ることを表したものです。表現については一部修正します。	H290214 総務常任委員会
追加11	基本構想 P. 19	「「しあわせ」な未来を創ることはできません。」を「「しあわせ」な「みらい像」を創ることはできません。」に変えてはどうか。	修正します。	H290214 総務常任委員会
追加12	基本構想 P. 20 P. 21	「多様性を活かしたネットワークづくり」とは何か。この表現だけでは伝わりにくい。	地域ごとの歴史や文化、住民の「多様な個性」を守るためには、人が地域で暮らしつづける必要があり、暮らしに必要な機能を維持しなければなりません。しかし、これらの機能を全ての地域において保つことは難しいことから、相互の機能を補完できるような公共交通のネットワークを構築することです。	H290214 総務常任委員会

追加 13	基本構想 P. 22	〈1〉持続可能な地域経営に「従来の行政主導の「行政経営」とあるが、これは当然のことであり、違和感がある。	修正します。	H290214 総務常任委員会
追加 14	基本構想 P. 23	まちづくり基本条例を記載した意図は何か。	市民、企業、議会、市長等の役割分担を明示するためです。それぞれの分野を横断した施策が必要であることから、基本構想の一部に記載しました。	H290214 総務常任委員会
追加 15	基本構想 P. 25	(5)の「心豊かな交流のもとで～子育て環境の整備を推進します。」は、もう少しシンプルな表現に訂正すべきではないか。	表現を整理します。	H290214 総務常任委員会
追加 16	基本構想 P. 25	(5)の「限られた経営資源を効率的・効果的～ソフトからハード(心)へと転換します。」の表現が分かりにくい。また、経営資源の投資などの行政改革の流れから、文脈をつなげるべきではない。さらに、行政計画において“心”についてまで記載すべきではない。	ハードウェア、ソフトウェア、ハードウェアの重層的な組み合わせを意味するものです。安全・安心を守るためのハード(建物、インフラ等)は必要ですが、それを動かすためのソフト(仕組み)が重要です。さらにそれらを使う市民のハード(気持ち)があつてこそ、ハードが生きてくるとの意味です。ご意見を受けて、文言を削除します。	H290214 総務常任委員会
追加 17	基本計画 P. 3	②成果主義を追求するについては理解できるが「スピード感」という表現には違和感を感じる。	修正します。	H290214 総務常任委員会
追加 18	基本計画 P. 6 P. 7	チャレンジプロジェクトは、あえて新年度の予算と統一されているのか。チャレンジプロジェクトも4年間続いていくものか。	平成29年度予算との連動を図ったものです。4年間を通じて集中的に取り組むプロジェクトとしています。	H290214 総務常任委員会
追加 19	基本計画 P. 7	新産業特区プロジェクトはどのようなものを示しているのか。具体的な事業はどうか。	平成29年度においては、産業振興に係る規制緩和や薬用作物等の振興を予定しています。具体的な事業は、今後定める実施計画で提示します。	H290214 総務常任委員会
追加 20	基本計画 P. 10 P. 11	主な事業は非議決事件とのことだが、新規事業等は明らかにすべきではないか。	重点事業等は、実施計画として別に策定する予定です。	H290214 総務常任委員会
追加 21	基本計画 P. 18 P. 19	「シティセールス」という表現は「シティプロモーション」に変更されたのではないのか。「シティセールス」と「シティプロモーション」の使い分けが分かりにくい。	今あるまちの魅力や、施策を売り込むことであり、本市においては「シティセールス」で統一しています。	H290214 総務常任委員会
追加 22	基本計画 P. 33	基本構想、基本計画において、住宅政策について示されていないのではないのか。	主に空き家の活用について示すとともに、P. 49都市形成分野でも、住宅の土地利用について記載しています。	H290214 総務常任委員会
追加 23	基本計画 P. 37	施策概要4に「カラス等による生活環境への影響」を追記できないか。	追記します。	H290214 総務常任委員会
追加 24	基本計画 P. 38	課題1の「大型店舗との差別化による～」の「差別化」の表現は適切なものか。他の適切な表現に改めるべきではないか。	ご意見を踏まえて修正します。	H290214 総務常任委員会
追加 25	基本計画 P. 39	施策概要4についてDMOの記載がないのではないのか。具体的に実行されるものは記載すべきではないのか。	マネジメント組織の構築として示しています。	H290214 総務常任委員会
追加 26	基本計画 P. 40	概況3の「勤労者の福利厚生事業を行う団体や勤労者～」の「や」が意図するものは何か。また、課題3では誰が誰を支援するとの意味なのか。読み手にわかりやすいように修正願う。	修正します。	H290214 総務常任委員会
追加 27	基本計画 P. 43	名神名阪連絡道路の活用について記載はされないのか。もう少し具体的に示すべきではないか。	具体的に記載します。	H290214 総務常任委員会

追加 28	基本計画 全体	成果指標の根拠はあるのか。また、その成果をどのように示すのか。	市民意識調査の結果に基づいています。成果については、毎年の市民意識調査等で把握し、公表します。	H290215	文教常任委員会協議会
追加 29	基本計画 P. 6 P. 7	3つのテーマの選定理由は何か。	3つの課題を踏まえ、対応すべきテーマを3つあげています。このテーマに基づき10のプロジェクトを構築しています。	H290215	文教常任委員会協議会
追加 30	基本計画 P. 6 P. 7	全体的に分かりやすい表現や体裁にしたい。	誰にでも馴染みやすい表現となるよう、文面を整えます。	H290215	文教常任委員会協議会
追加 31	基本計画 P. 24	概況1の「市民の高度な学習要求に応え～誰もが利用しやすい図書館をめざします。」は社会参加への支援と図書館の活用が併記されており、分かりにくい。	修正します。	H290215	文教常任委員会協議会
追加 32	基本計画 P. 25	社会教育の位置付けはどうか。	施策のなかで「生涯学習と社会教育」を一体的に推進する旨を記載しています。	H290215	文教常任委員会協議会
追加 33	基本計画 P. 25	2025年の滋賀国体を控え、その対応を明示すべきではないか。	追記します。	H290215	文教常任委員会協議会
追加 34	全体	全体的に、分かりやすい表現が必要ではないか。(カタカナ等の横文字表現が多用されている。)	分かりやすい表現に修正します。(ベストミックス、レッドデータなど)	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 35	基本構想 P. 9	県立陶芸の森については、アーティストレジデンスという考え方がある。表現の検討をお願いする。	追記します。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 36	基本構想 P. 19	総合戦略の人口ビジョンとの整合はどうか。	計画期末の人口目標は、総合戦略の人口ビジョンと整合しています。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 37	基本構想 P. 19	国づくりプロジェクトは、どのように反映されているのか。	総合戦略と同じ審議会委員が検討を重ねており、総合計画に包括することを前提としています。戦略のポイント等は基本構想のまちづくり大綱等に反映されています。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 38	基本計画 P. 25 P. 29	アールブリュット等の障がい者の芸術について、触れられていない。追記をお願いしたい。	文化・芸術分野に追記します。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 39	基本計画 P. 35	河川の浚渫と護岸工事は、国や県が実施する事業である。あまりに目標が大きいため、市として4年間で取り組める内容を記載すべきではないか。	修正します。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 40	基本計画 P. 38	「忍者」だけで観光振興につながるのか。信楽は観光客が市内でも多く、それらを考慮し、第2次観光振興計画も策定すべきではないか。甲賀流忍者と信楽焼を無理につなげる観光施策には反対である。	信楽焼など地場産業への波及効果を生み出すため、発信力のある忍者を使うものです。観光における多様な資源を活かすための手段であり、信楽と忍者の統合を図るものではありません。多様性を活かすような表現に改めます。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 41	基本計画 P. 38	忍者と信楽焼をつなげることは難しい。DMOも忍者に特化すべきではないか。ターゲットも違う。	マネジメント組織の仕組みについては、今後、検討します。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 42	基本計画 P. 38	忍者の施設整備ができていない。甲賀市へ観光へ来た際に、中心となる場所・モノがない。	忍者に係る観光拠点の整備については、チャレンジプロジェクトで位置づけたいと考えています。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 43	基本計画 P. 38	課題1の「大型店舗との差別化による～」とあるが、大型店舗ではなく、ネット販売等が主流となっているのではないか。	インターネット通販など、多様な販売形態が広がっていることを追記しました。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 44	基本計画 P. 38 P. 39	地場産業の振興については、「販路に係る振興」と「資源に係る振興」がある。陶土を採取できる場所が限られている現状もある。資源についての支援も明示すべきではないか。	土(陶土)、森林、エネルギーなどは、全て自然資源です。地域ならではの資源を活かすため、新産業特区プロジェクトに位置付け、支援と規制緩和を行います。	H290221	産業建設常任委員会協議会

追加 45	基本計画 P. 39	施策概要2に「稼ぐ力の強い薬業を活かし」とある。この表現が意味することは何か。	薬業は域外から多くの資金を稼いでいますが、サプライチェーンの多くが市外であり、域内経済への波及効果は乏しい状況です。包装等の薬業関連企業の誘致や、市内企業との連携による域内経済の循環が必要であるという意味です。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 46	基本計画 P. 43	施策概要4の「市が管理する信楽高原鉄道に係る財政負担」の表現はどうか。	市が管理するのは「施設」のみであり、記載内容を修正します。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 47	基本計画 P. 43	観光施設へのアクセスなどにおいても、公共交通の充実は必要不可欠である。	費用対効果を含め、コミュニティバス路線再編のなかで対応を検討します。記載内容は一部修正します。	H290221	産業建設常任委員会協議会
追加 48	基本構想 全体	部分、部分で修正がかかっており、全体を通じた文脈や文言の整理が必要ではないか。	主語、述語の使い方、冗長な表現などについては、全体を通して再整理します。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 49	基本構想 P. 2	地方自治法において、基本構想の定めについては法的根拠がなくなった。基本構想の策定についての根拠とその構成はどのようなものか。また、第1次との違いはどこか。	議会基本条例において、基本構想と基本計画が議決事件として定められています。第1次との大きな違いは、10年計画(前期、後期)から、12年計画(1期、2期、3期)となり、マニフェストを反映しやすくなったことにあります。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 50	基本構想 P. 2	基本構想を12年間の期間とし、基本計画については、市長任期の4年で見直しとの説明をされたが、市長交代もありえる。市の継続性についてはどのように考えているのか。	総合計画は諮問機関である審議会で議論いただいているものであり、行政の継続性から考えると、基本構想は原則12年間は見直しません。基本計画については、市長任期ごとに見直すことを想定しています。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 51	基本構想 P. 19	市長選において10万人都市の実現を掲げられた。基本構想において人口フレームが平成40年(2028年)に87,000人とされている。整合性について伺いたい。	これまでの議会での答弁のとおり、2028年度の人口目標は総合戦略との整合性を重視し、87,000人とします。今後、暫くは若年女性の数が減ることは確実であり、近年中に人口増加に転じることは難しい状況です。できるだけ早期に人口の転入と転出を均衡させ、10万人都市へチャレンジするための取り組みが、オール甲賀で未来につなぐ、チャレンジプロジェクトです。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 52	基本構想 P. 19	審議会において、人口についての議論はされているのか。	人口減少は全国的な課題であり、本市だけが、即人口増加に転じることは難しい状況です。審議会では、人口減少局面に合わせた「守り(調整策)」の対策を行いながらも、まずは、社会増減を均衡させることに注力することで、2028年を人口減少の底とし、回復させることとしています。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 53	基本構想 P. 19	人口目標については、基本構想と基本計画で相反するものとなっていないか。	基本構想では、12年後の人口目標を87,000人とし、2028年を人口減少の底として、ここから回復させることを目指しています。一方で、人口減少対策は長期に亘る取り組みが必要であり、10万人都市にチャレンジするための足掛かりとなる、新しい取り組みが、基本計画の1期目に掲げるチャレンジプロジェクトとしています。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 54	基本計画 P. 6	10万人都市に向けた3つの課題は、「10万人」でも「8万人」でも同じ課題になるのではないのか。	市民意識調査や意見交換会、各種統計資料をもとにまとめた課題であり「10万人」「8万人」共通の課題です。この課題への対策なしに、人口を増加させることは難しいと考えます。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 55	基本計画 P. 15	施策概要3「人権に関する総合窓口では～適切な窓口との連携に努めます。」「窓口」という表現が続いている。表現を分かりやすくすべきではないか。	分かりやすい表現に修正します。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 56	基本計画 P. 15	施策概要3「人権に関する総合窓口では～周知するとともに～努めます。」は何を周知するのか。	相談窓口の場所が分かるように周知するということです。分かりやすい表現に改めます。	H290223	民生常任委員会協議会

追加 57	基本計画 P. 17	施策概要1「家庭・地域・職場・学校」とあるが、場所を限定せず「あらゆる場所」で提供することを検討願いたい。	あらゆる場所を具体的に明示したものです。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 58	基本計画 P. 19	「知財」の表現が分かりにくい。知的財産、知的資産のいずれか。	シティセールス推進計画に基づく表現ですが、整理のうえ、馴染みやすい表現に改めます。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 59	基本計画 P. 21	レッドリストの表現が分かりにくい。市民に馴染みがない。	絶滅危惧種などの表現に改めます。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 60	基本計画 P. 21	生活環境の保全の「日常生活において、市民相互の理解と信頼関係～」とあるが、一般的な内容であり、もう少し具体的に示す必要があるのではないかと。	課題4「日常生活環境に係る苦情や相談が増加…」を受け近隣同士の事象、例えば空き家、空き地などの隣接地の管理などを表現したものです。もう少し具体的に示します。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 61	基本計画 P. 27	衛生センターの焼却熱の利用を検討いただきたい。	衛生センターを管理する広域行政組合で検討します。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 62	基本計画 P. 29	施策概要2の障がい「者」の表現について、改めていただきたい。	「障がいのある人」がやさしい表現と思われるので、審議会で諮ります。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 63	基本計画 P. 29	地域福祉の満足度が低いとその理由はどうか。また、目標とする数値をもう少し高く設定すべきではないか。	交通や高齢者福祉など生活に密着した施策は、市民意識調査でも低めに回答される傾向にあり、それだけ期待されている施策ともいえます。他市の事例を見ても、市民意識調査の数値を急上昇させることは難しいと考えます。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 64	基本計画 P. 47	学校教育に関わる部分でも、いじめ等の人権教育について記載するべきではないか。	P. 15の人権教育において、学校教育の現場における取り組みも含めています。P. 47学校教育においても、自尊感情やインクルーシブ教育について明示しています。	H290223	民生常任委員会協議会
追加 67	基本構想 P. 19	「現実的な未来だけでなく…」現実的な未来とは何か。また、「現実的な未来」と「夢や希望ももてる未来」を掛け合わせるとの文言がイメージできない。「現実的な未来」の表記を削除してはどうか。	「現実的な未来」とは、人口減少は不可避の課題として捉えたものです。しかし、悲観的な将来だけを考えても何もはじまらず、夢や希望を定め、そこに向かうことを表現したものです。ご指摘を受けて「掛け合わせる」等の表現も含めて、再考します。	H290314	総務常任委員会
追加 68	基本計画 P. 15	施策概要3について「相談」のフレーズが多く、わかりにくい。	わかりやすいよう再考します。	H290314	総務常任委員会
追加 69	基本計画 P. 25	施策概要3に「…体育施設の改修等について検討します。」とあるが具体的に進める施策については、示せる範囲で明記してほしい。「検討します」では、方向性が見えてこない。	具体的に明記できるか検討し、表現を再考します。	H290314	総務常任委員会
追加 70	基本計画 P. 39	施策概要2に「信楽伝統産業会館の老朽化に対応します。」とあるが、老朽化だけが課題ではない。老朽化をはじめ当会館を活用することで産業振興に寄与する枠組みをできるだけ具体的に書けないか。整備するだけではどうか。	産業振興につながる活用策など、単なるハード整備に留まらない、今後の展開について記載します。	H290314	総務常任委員会